


# 欧州景気概況(2022年11月)



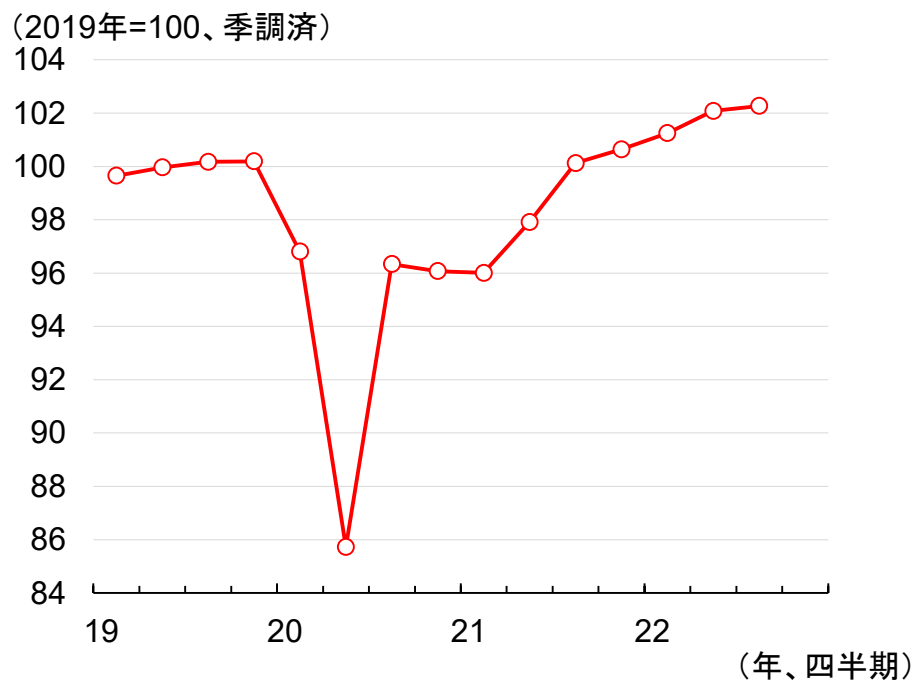
2022年11月2日

調査部 副主任研究員 土田陽介

## ユーロ圏景気概況① 景気は足踏みしている

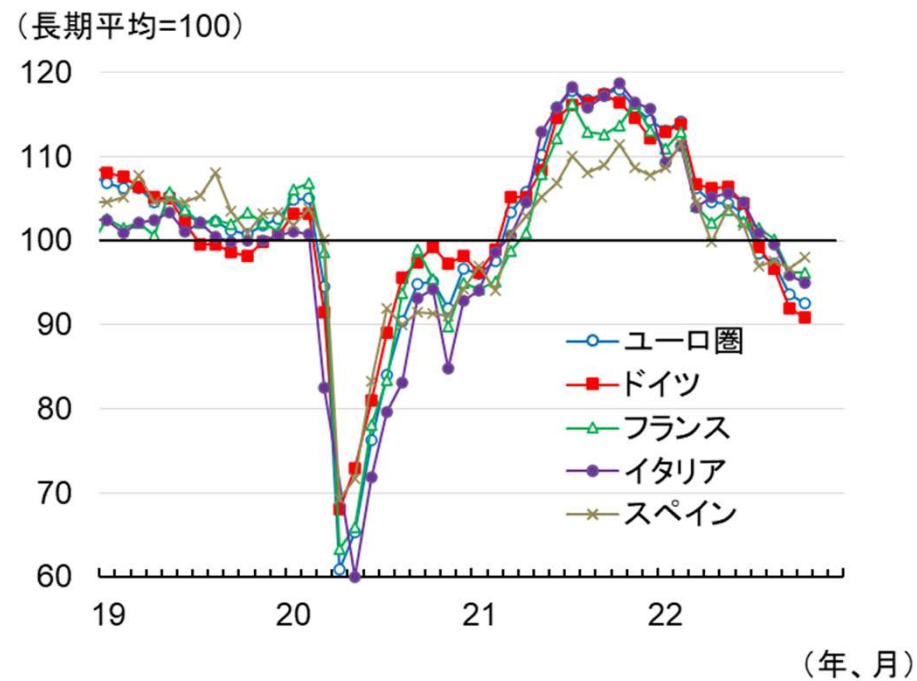
ユーロ圏の7-9月期の実質GDP(速報値)は前期比+0.2%と、4-6月(同+0.8%)から増勢が失速した。景気の方角を示す景況感指数は、最新10月が92.5と8ヶ月連続で低下したが、一方で下げ止まりの兆しもうかがえる。

### 実質GDP



(出所) 欧州連合統計局(ユーロスタット)

### 景況感指数



(出所) 欧州委員会ECFIN

## ユーロ圏景気概況② 生産は横ばい

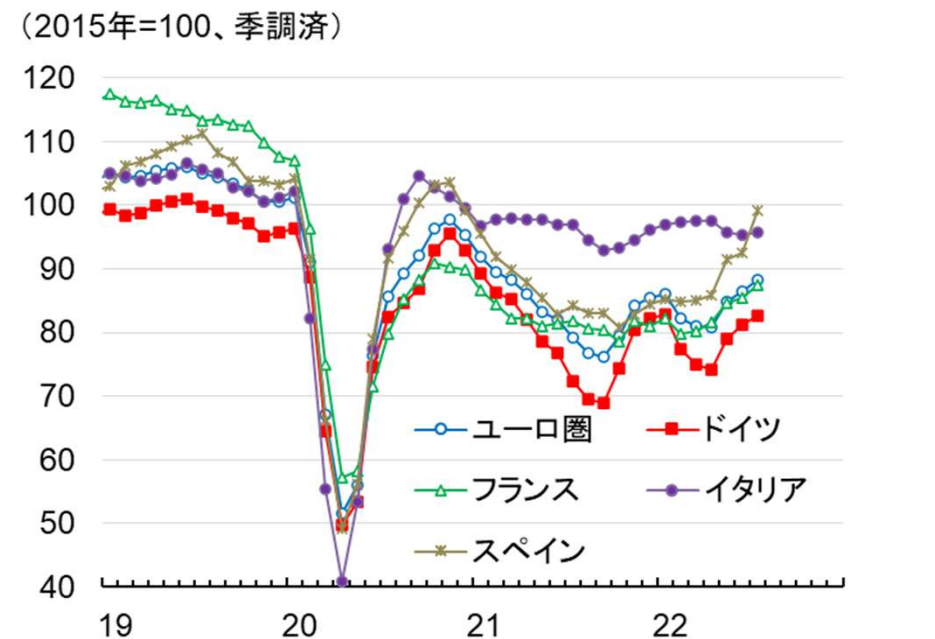
ユーロ圏の8月の鉱工業生産は前月比+1.5%と再び増加したが、均した動きは横ばい。資本財と耐久消費財が増加に転じ、生産全体をけん引した。主要国の自動車生産台数は、イタリアを除いて持ち直しが続いている。

### 鉱工業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所) ユーロスタット (年、月)

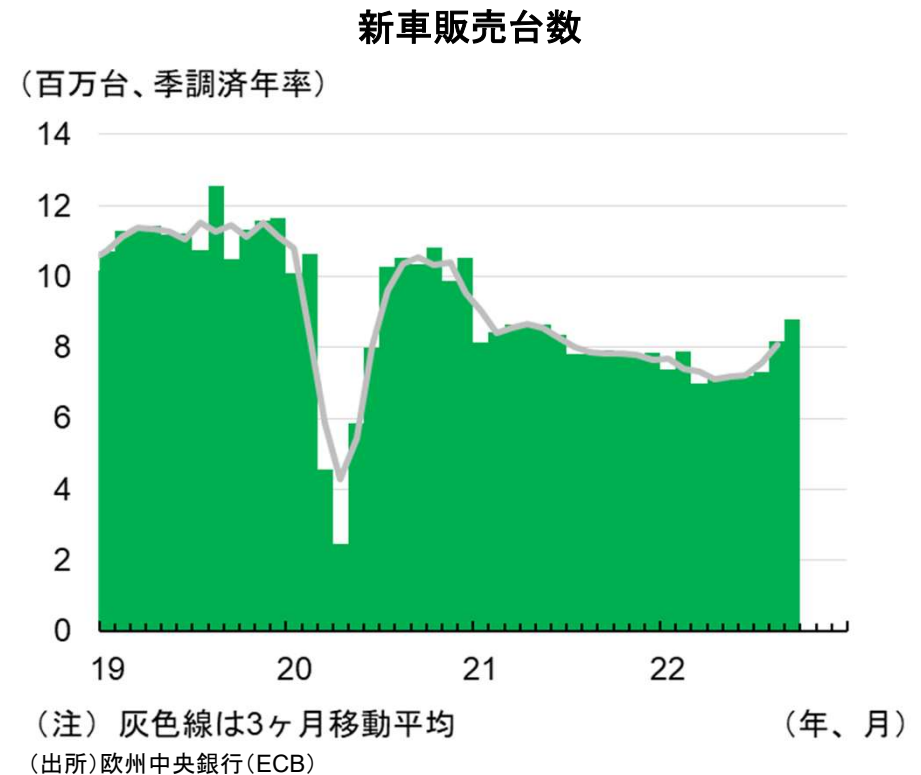
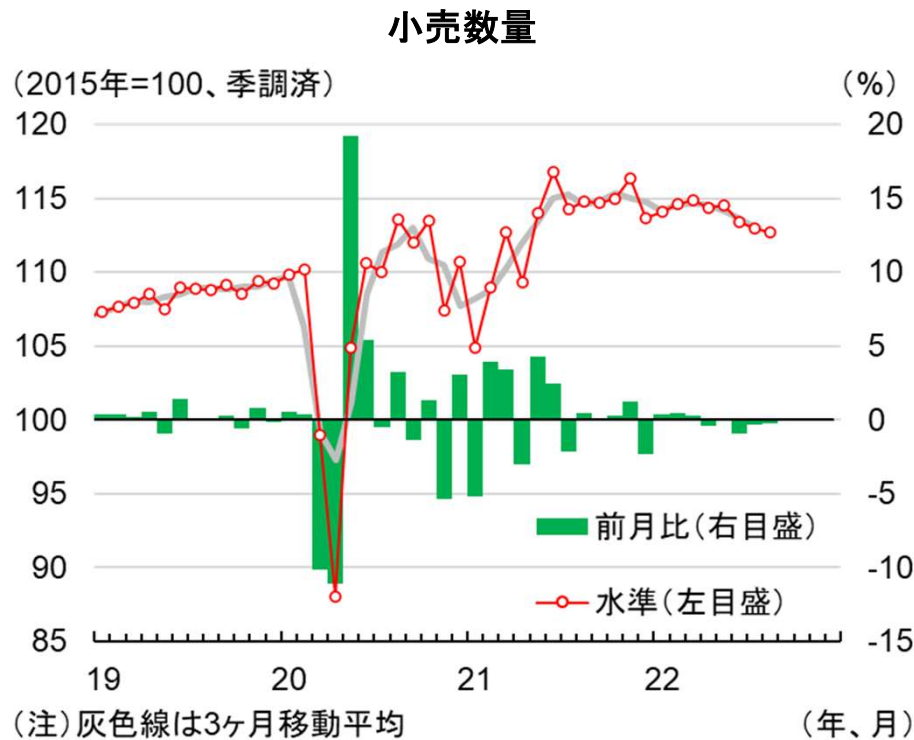
### 自動車生産台数(鉱工業生産ベース)



(注) 3ヶ月後方移動平均  
(出所) ユーロスタット (年、月)

## ユーロ圏景気概況③ 消費は悪化

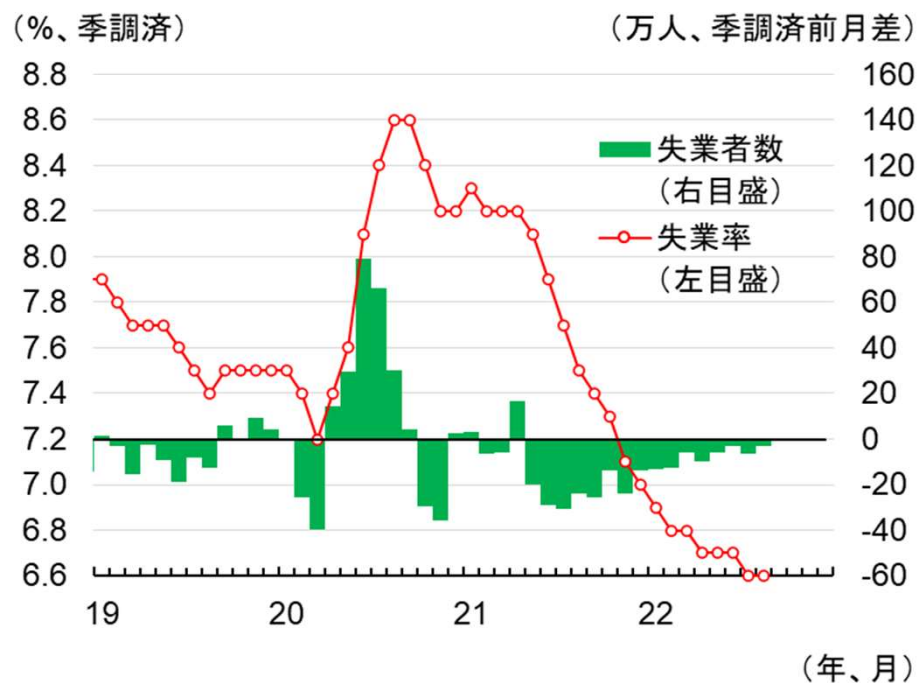
ユーロ圏の8月の小売数量は前月比▲0.3%と3ヶ月連続で減少、均した動きは下向き。翌9月の新車販売台数は前月比+7.4%の年率878万台と堅調、均した動きも上向き。半導体などの供給制約の緩和が新車登録台数の増加につながった模様。



## ユーロ圏景気概況④ 雇用は改善

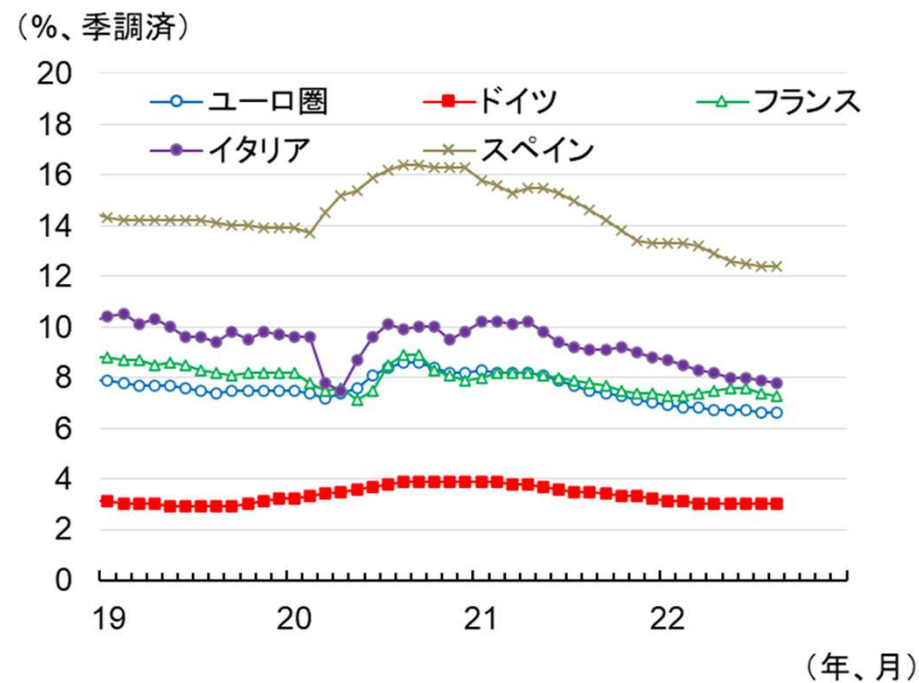
ユーロ圏の8月の雇用統計では、失業率が6.6%と前月から横ばい、失業者数も前月比3.0万人減と、雇用は改善したがそのテンポは鈍化した。主要国別に失業率をみると、いずれも下げ止まったか下げ止まりつつある。

### 失業率と失業者数



(出所)ユーロスタット

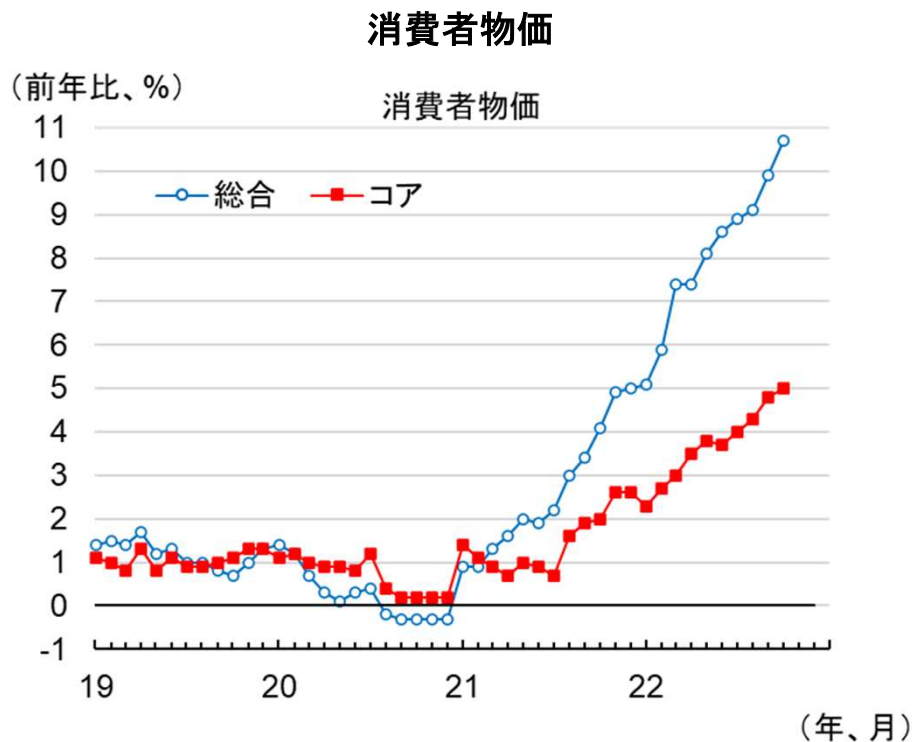
### 主要国別失業率



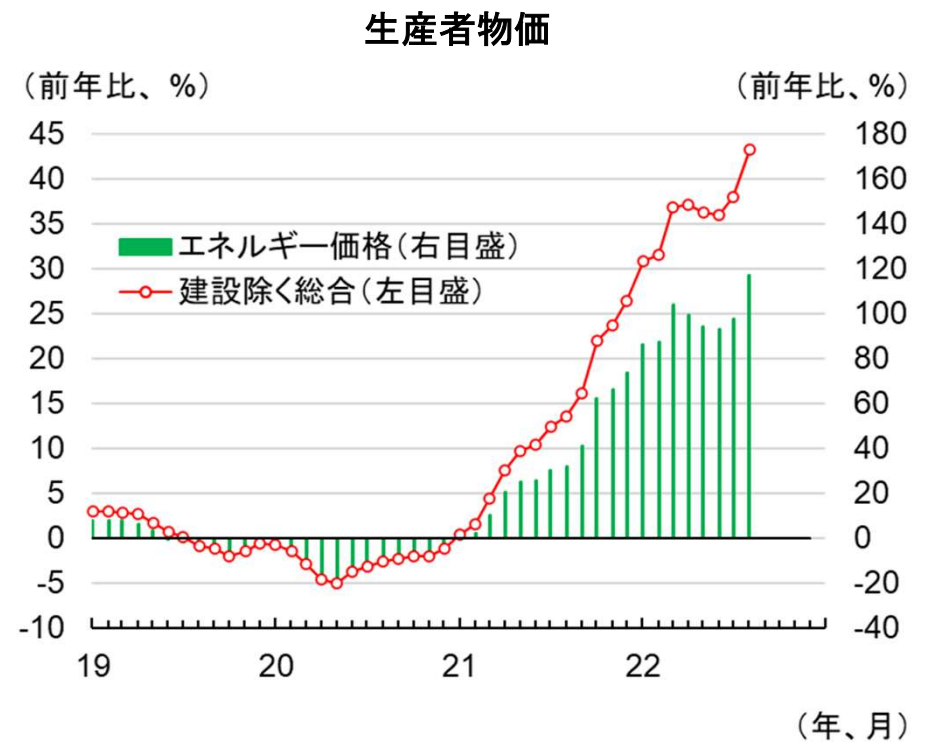
(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑤ 物価はインフレが加速

ユーロ圏の10月の消費者物価(速報値)は前年比+10.7%と、インフレが加速した。先行指標である生産者物価(建設除く総合)は8月時点で前年比+45.8%と、2ヶ月連続で伸びが加速した。うちエネルギー価格も同+116.8%と上昇幅がさらに拡大した。しかし10月下旬には、物価を押し上げてきた天然ガスの価格が急落した。



(出所)ユーロスタット

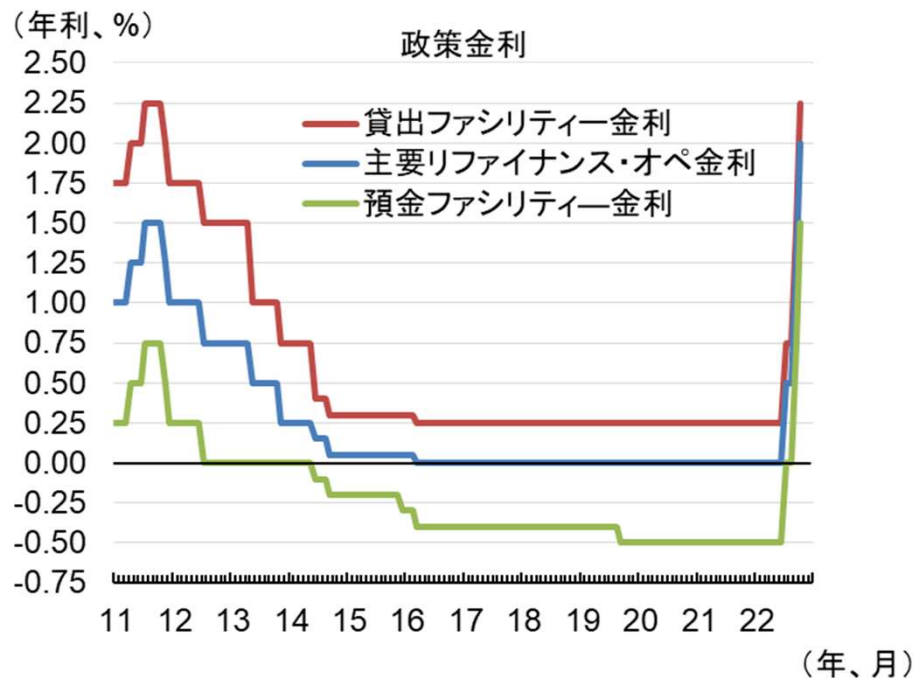


(出所)ユーロスタット

## ユーロ圏景気概況⑥ ECBは9月理事会で利上げを実施

欧州中央銀行(ECB)は10月27日に定例の政策理事会を開催、3種類ある政策金利をそれぞれ0.75%ずつ引き上げた。次回の定例の政策理事会は12月15日の予定だが、この理事会でECBは資産購入プログラム(APP)の再投資終了に関する原則を公表する予定。

ECBの政策金利



(出所) 欧州中央銀行(ECB)

10月理事会での決定内容の概要

主な決定事項	内容
政策金利	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 各政策金利を0.75%ずつ引き上げ <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 貸出ファシリティー金利 1.50% → <b>2.25%</b></li> <li>・ 主要リファイナンス・オペ金利 1.25% → <b>2.00%</b></li> <li>・ 預金ファシリティー金利 0.75% → <b>1.50%</b></li> </ul> </li> </ul>
資産購入の再投資政策	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 資産購入プログラム(APP) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再投資は金融環境の安定が確認された後に終了</li> <li>・ <b>再投資終了に関する原則を2022年12月理事会で公表</b></li> </ul> </li> <li>■ パンデミック緊急購入プログラム(PEPP) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 再投資は2024年末で終了</li> <li>・ 各国中銀の出資比率に応じた資産購入などを適用せず、柔軟な購入を行う</li> </ul> </li> </ul>
市場分断防止策(TPI)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ TPIの適用条件 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ EUが定める財政ルールへの順守</li> <li>・ 健全なマクロ経済運営(過剰な経常赤字の是正など)</li> </ul> </li> <li>■ TPIの具体的な手段 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流通市場での国債購入、金額は無制限</li> <li>・ 購入対象資産は国債が中心、社債も視野、満期1~10年</li> <li>・ 状況が改善すれば終了</li> <li>・ 経済の基礎的条件に基づく金利上昇には適用せず</li> </ul> </li> </ul>

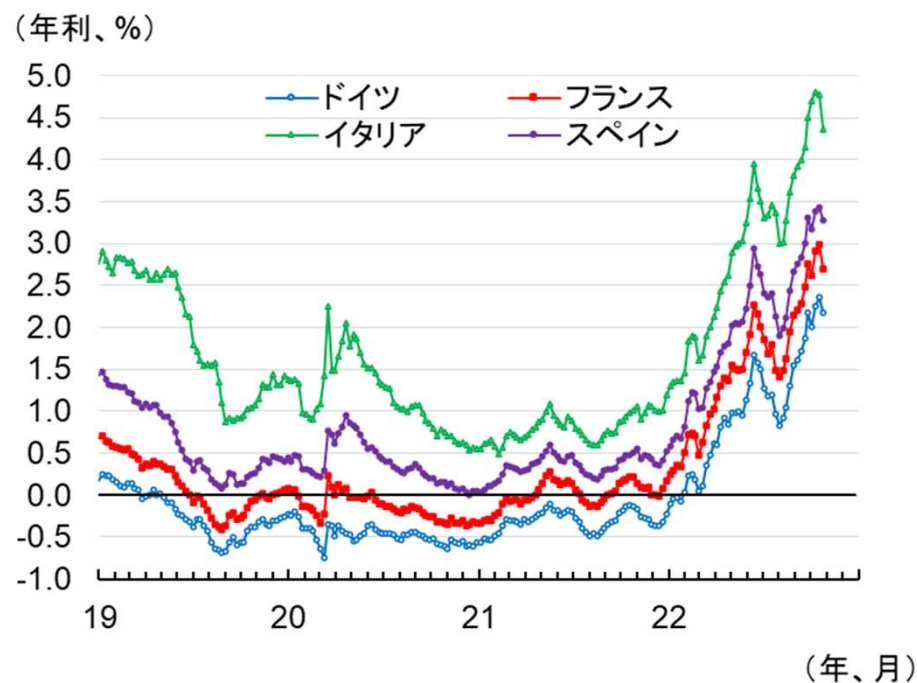
(出所) ECB



## ユーロ圏景気概況⑦ 金利は上昇後に低下、株価は上昇

10月のユーロ圏主要国の長期金利は上昇後に低下した。月上旬は世界的に金融引き締めの流れが加速するとの観測から金利は上昇したが、月下旬は金融引き締めの流れが減速するとの見方が強まり金利が低下した。一方で、10月の株価は上昇した。金融引き締めの流れが減速するとの見方が台頭し、相場の上昇につながった。

### 長期金利



(出所) ECB

### 株価 (Eurostoxx50)



(出所) STOXX



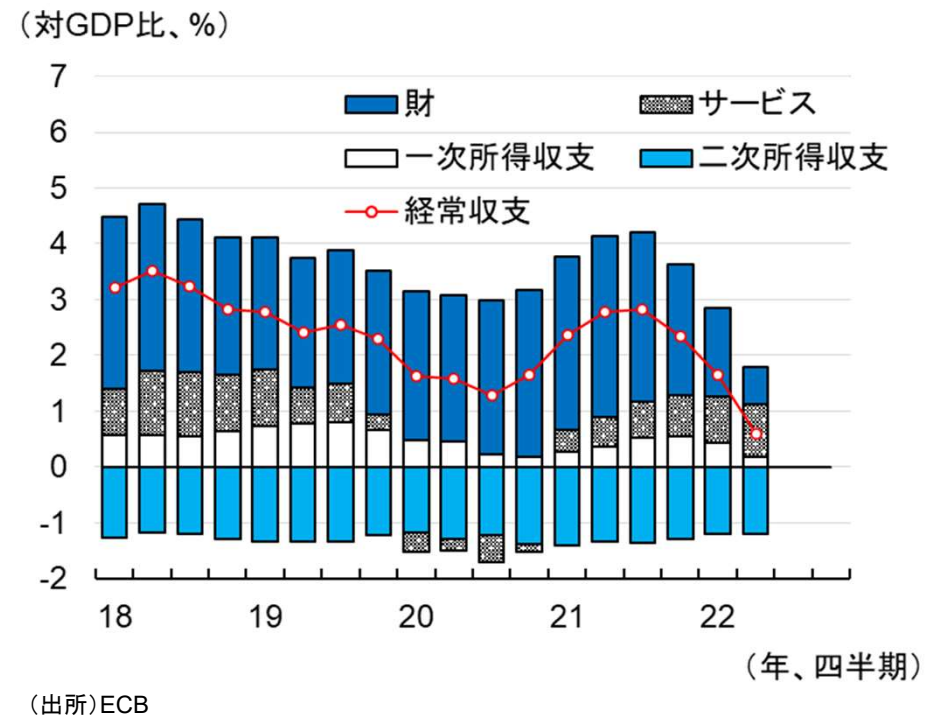
## ユーロ圏景気概況⑧ ユーロは対ドル・対円で下落

10月のユーロ相場は対ドル・対円で上昇。対ドルでは、米国の追加利上げテンポが鈍化するとの見方からユーロ高となった。対円では、日銀が金融緩和を据え置く一方で、ECBが利上げを進めたためユーロ高となった。経常収支は財貿易収支の黒字幅が徐々に縮小しており、実需面からのユーロ買い圧力は弱まっている。

### ユーロ相場



### 国際収支

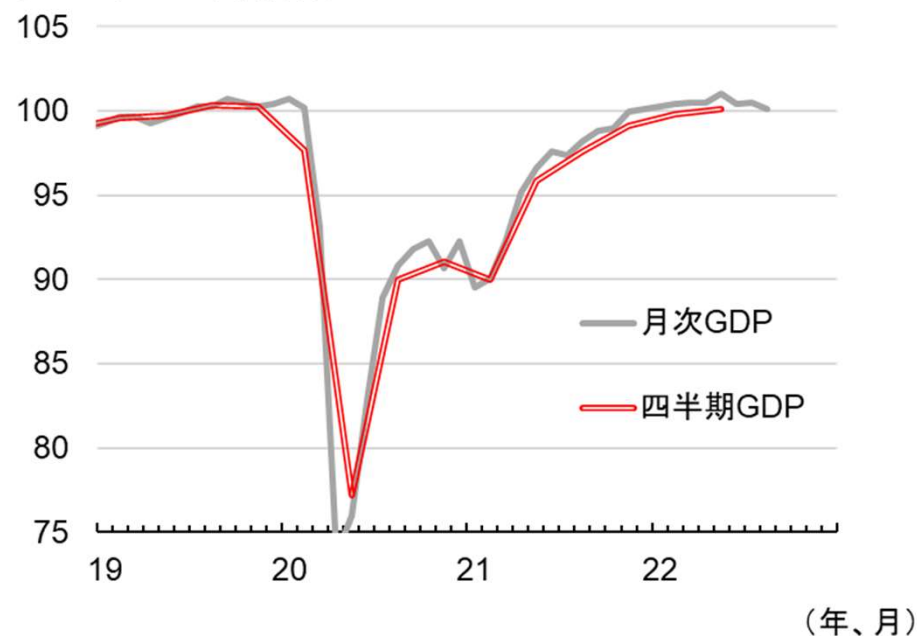


## 英国景気概況① 景気は足踏みしている

英国の4-6月期の実質GDPは前期比+0.2%と4四半期連続で伸びが鈍化した。産業別には、サービス業が堅調を維持し、また工業も復調したが、建設業が不調だった。また8月の月次実質GDPは前月比▲0.4%と再び減少し、均した動きも横ばい。

### 実質GDP

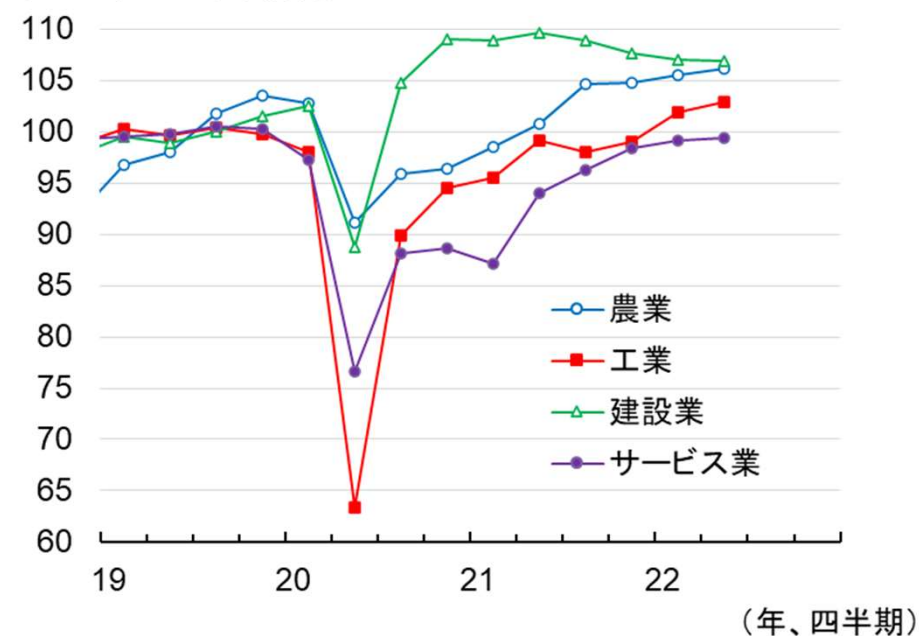
(2019年=100、季調済)



(出所)英国立統計局(ONS)

### 実質GVA(粗付加価値)

(2019年=100、季調済)



(出所)ONS

## 英国景気概況② 生産は悪化

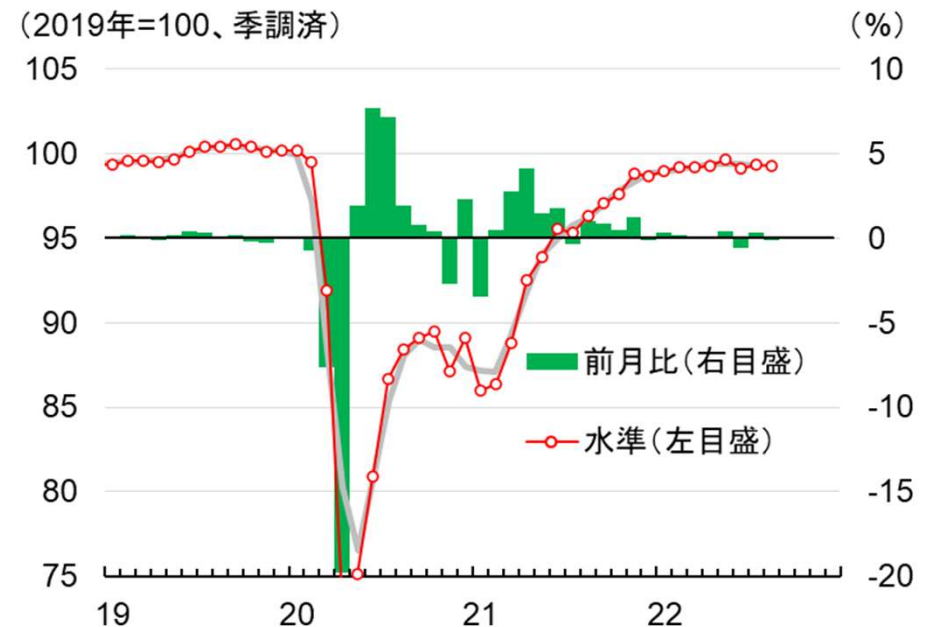
英国の8月の鉱工業生産は前月比▲1.8%と3ヶ月連続で減少、均した動きも下向き。一方で、同月の実質輸出は同+5.4%と増加が続き、均した動きも上向き。一方で、同月のサービス生産は前月比▲0.1%と再び減少し、均した動きは横ばい。

### 生産と輸出



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

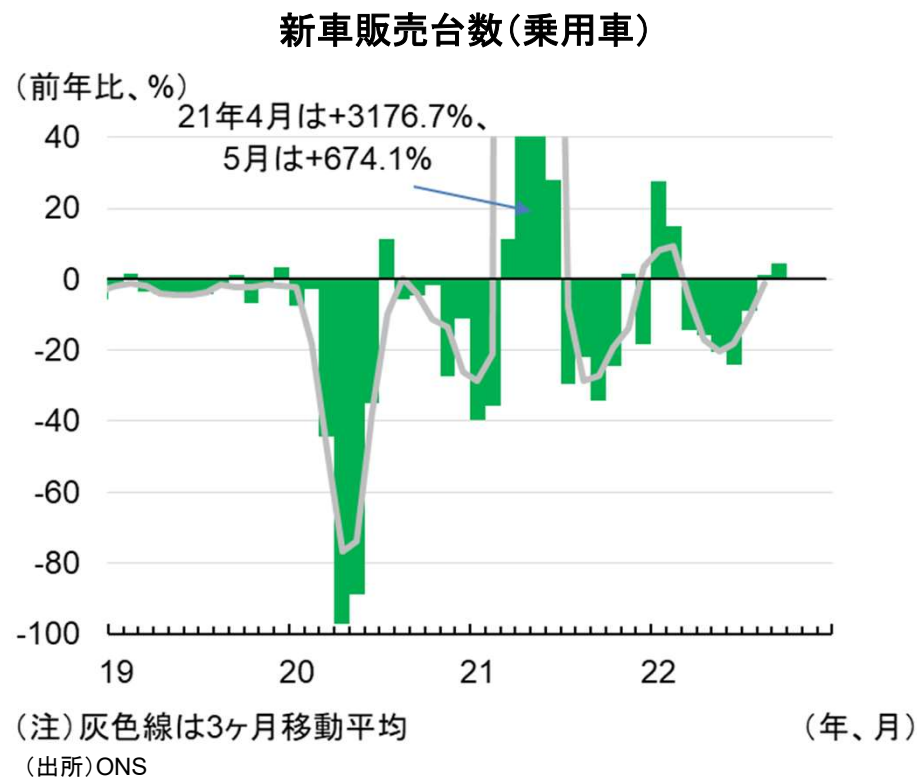
### サービス業生産



(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所)ONS

## 英国景気概況③ 消費は悪化

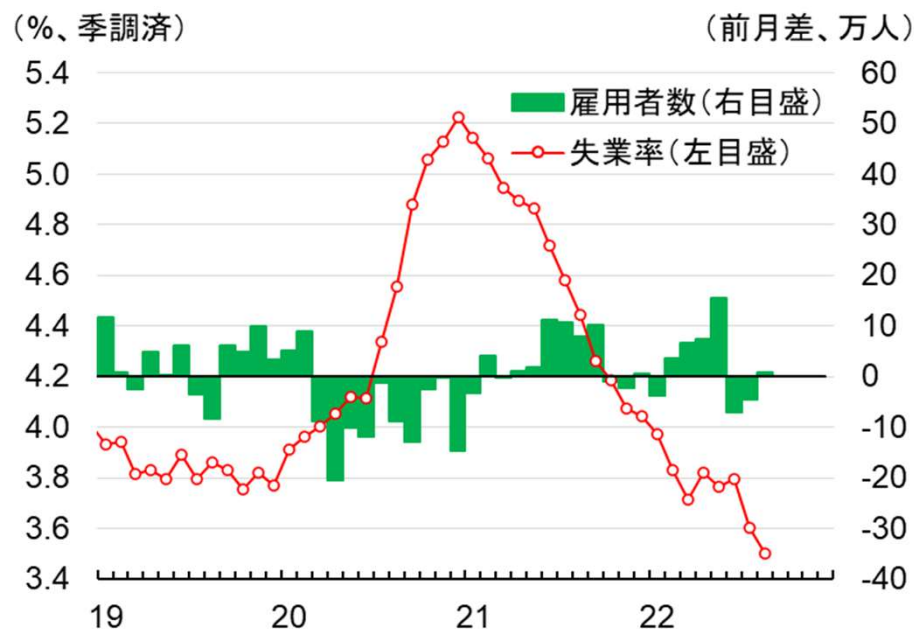
英国の9月の小売数量(除く石油)は前月比▲1.4%と2ヶ月連続で減少、均した動きも下向き。一方で、同月の新車販売台数(乗用車)は前年比+4.6%(22.5万台)と2ヶ月連続でプラスとなり、均した動きもマイナス幅が縮小するなど調整が一巡しつつある。



## 英国景気概況④ 雇用は改善

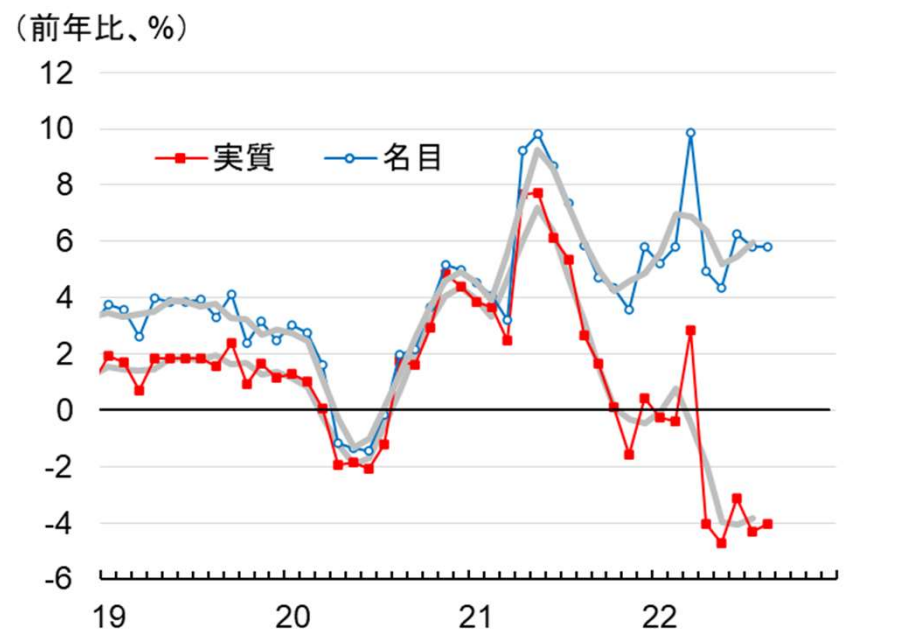
英国の8月の雇用統計(3ヶ月後方移動平均)では、失業率が3.5%と改善し、雇用者数も前月比0.8万人増と3ヶ月ぶりに増加するなど、雇用は改善が進んだ。均した賃金の動きは名目ベースだと前年比6%前後のプラス幅が定着も、消費者物価で実質化した実質ベースだと同▲4%近くの減少幅が続く。

### 雇用統計



(注) 3ヶ月間の平均値  
(出所) ONS

### 平均賃金(週給)

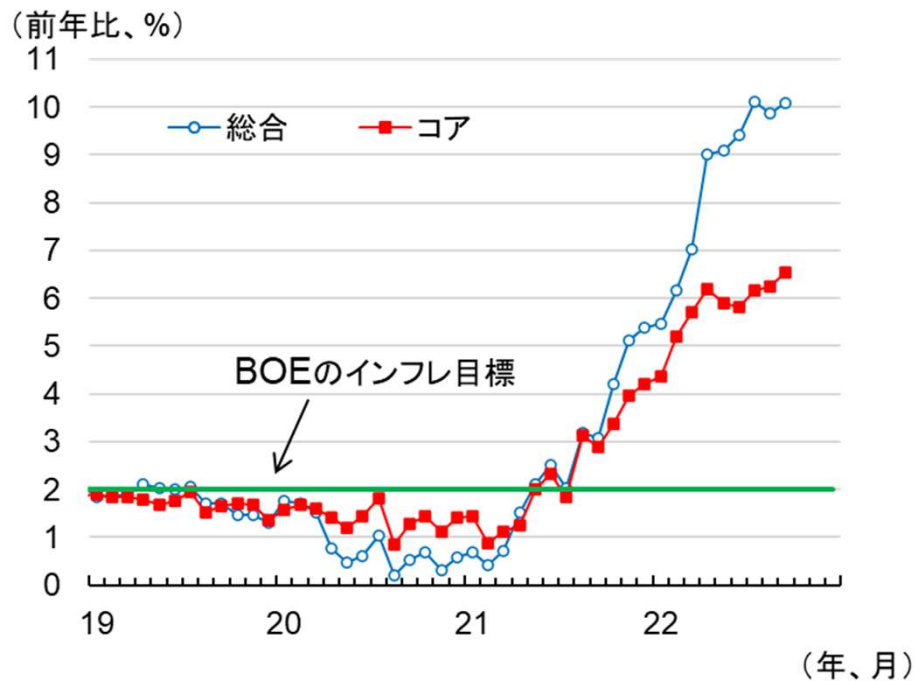


(注) 灰色線は3ヶ月移動平均  
(出所) ONS

## 英国景気概況⑤ 物価は高インフレが続く

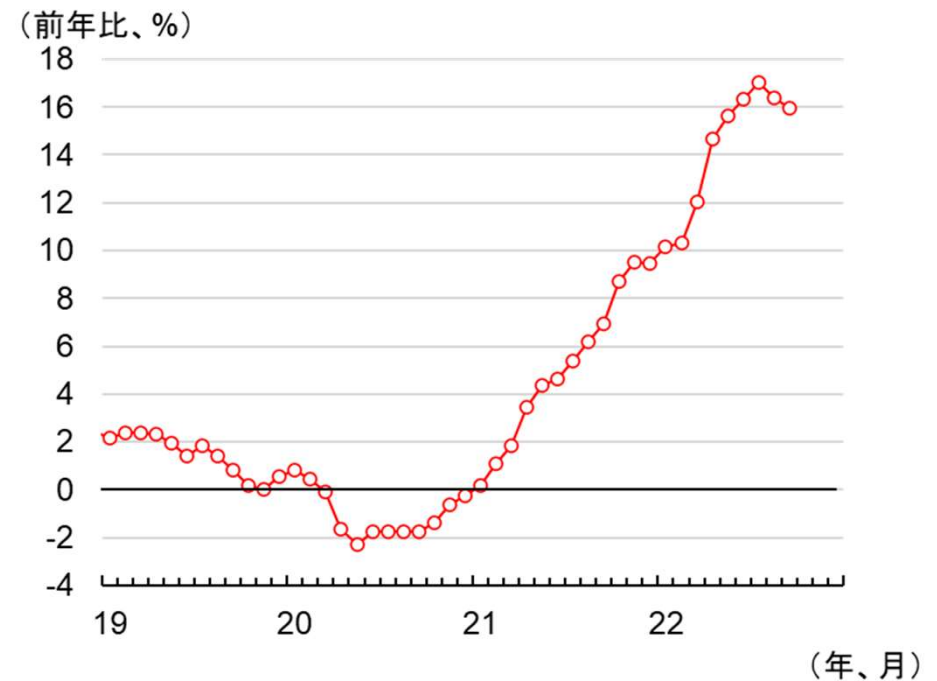
英国の9月の消費者物価は総合ベースで前年比+10.1%と再び上昇が加速し、高インフレが続く。一方で、同月の生産者物価は同+16.0%と2ヶ月連続で伸び率が低下も、依然として高水準。

### 消費者物価



(出所)ONS

### 生産者物価(投入価格、除く関税)

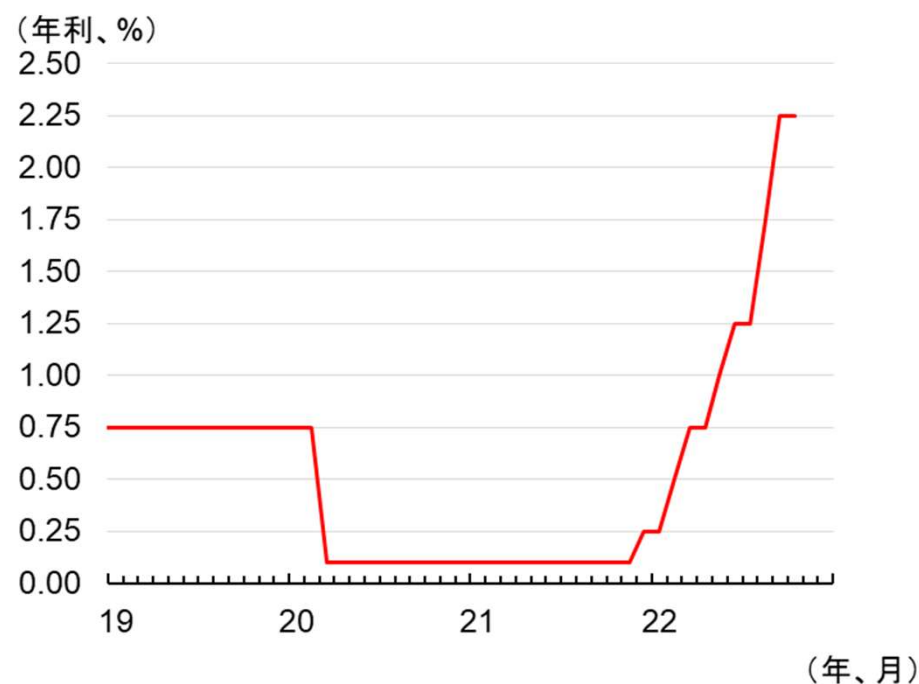


(出所)ONS

## 英国景気概況⑥ BOEは11月委員会で追加利上げへ

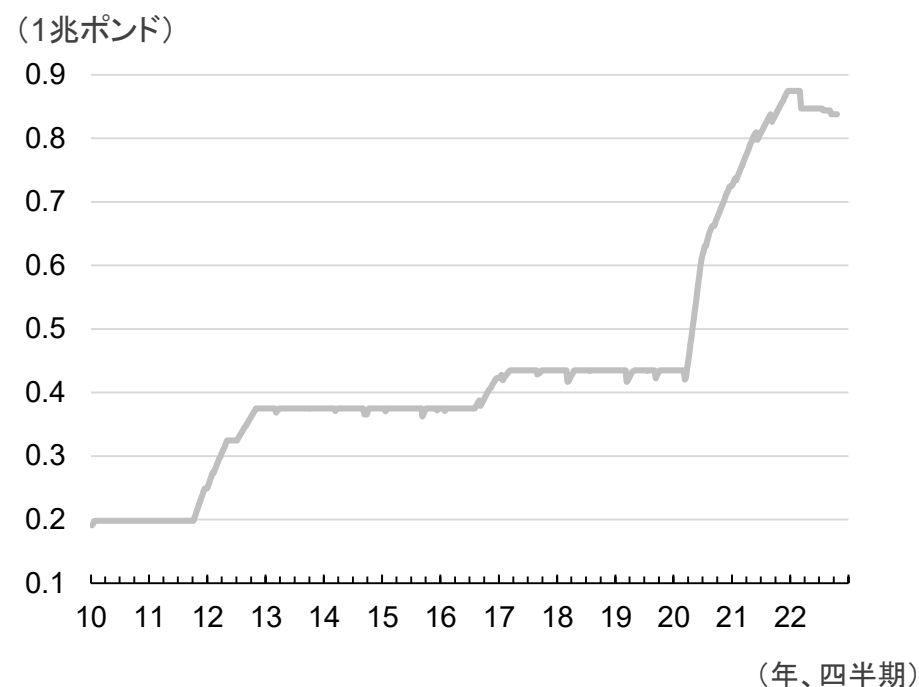
イングランド銀行(BOE)は11月3日に定例の金融政策委員会(MPC)を開催し、政策金利(バンクレート)を追加で0.75%ポイント程度引き上げる見込み。年内最後の理事会は12月15日を予定。なおBOEは、11月1日から保有国債の市中売却を開始した。

### 政策金利(バンクレート)



(出所)イングランド銀行(BOE)

### 英中銀の国債保有高



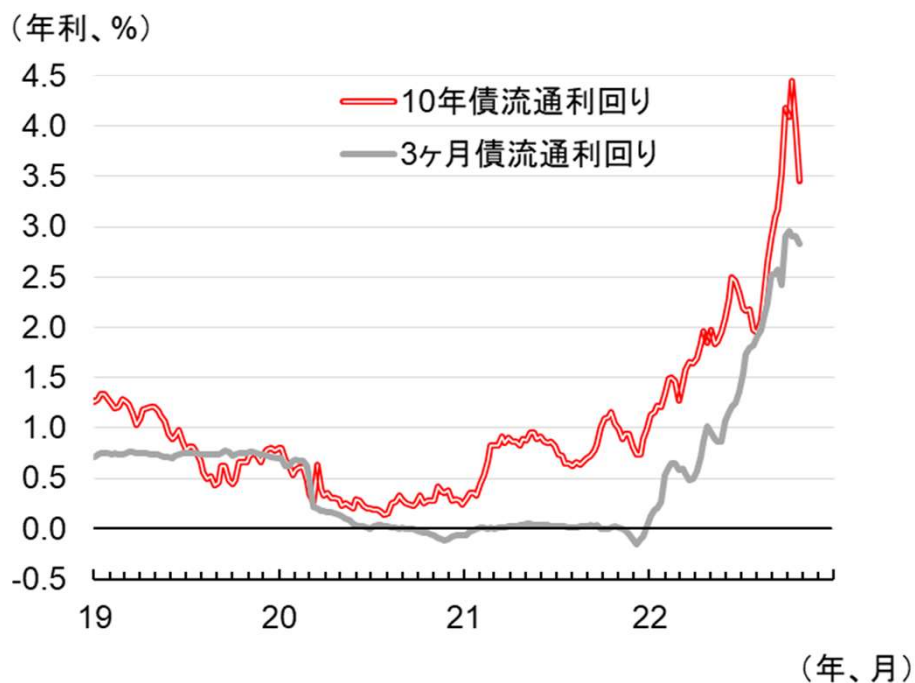
(出所)BOE



## 英国景気概況⑦ 金利は低下、株価は上昇

英国の10月の長期金利は低下した。トラス前首相が減税によるインフレ対策を撤回し、その後に就任したスナク新首相が健全財政路線を敷くことへの期待が高まり、金利は低下した。一方で10月の株価は上昇した。スナク新首相が健全財政路線を敷くことへの期待から株価が上昇した。

### 金利



(出所)BOE

### 株価 (FT30指数)

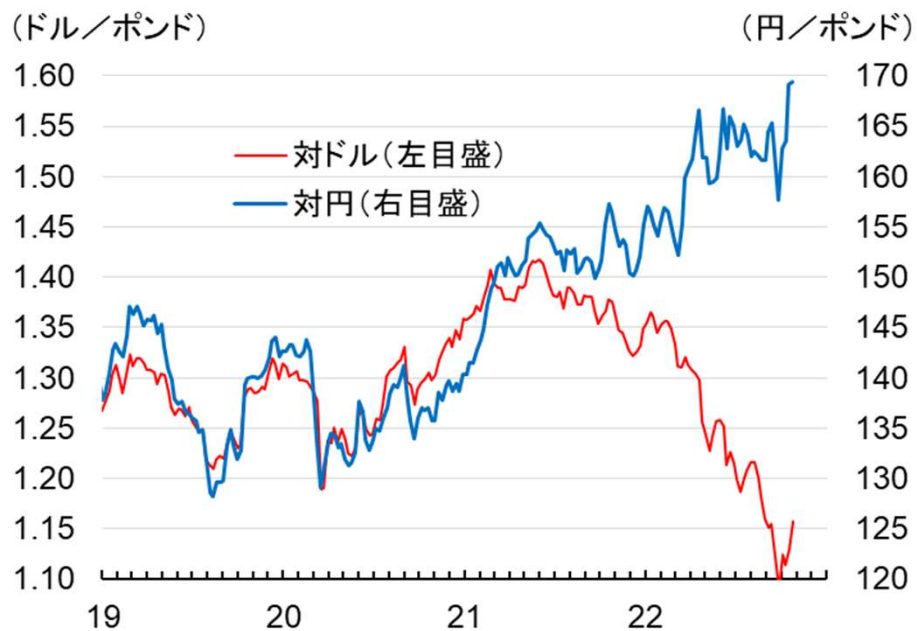


(出所)BOE

## 英国景気概況⑧ 対ドル・対円でポンド高

10月のポンド相場は対ドル、対円で上昇。トラス前首相が発表したインフレ対策が撤回され、10月25日に就任したスナク新首相が健全財政路線を敷くことへの期待から、ポンド高が進んだ。

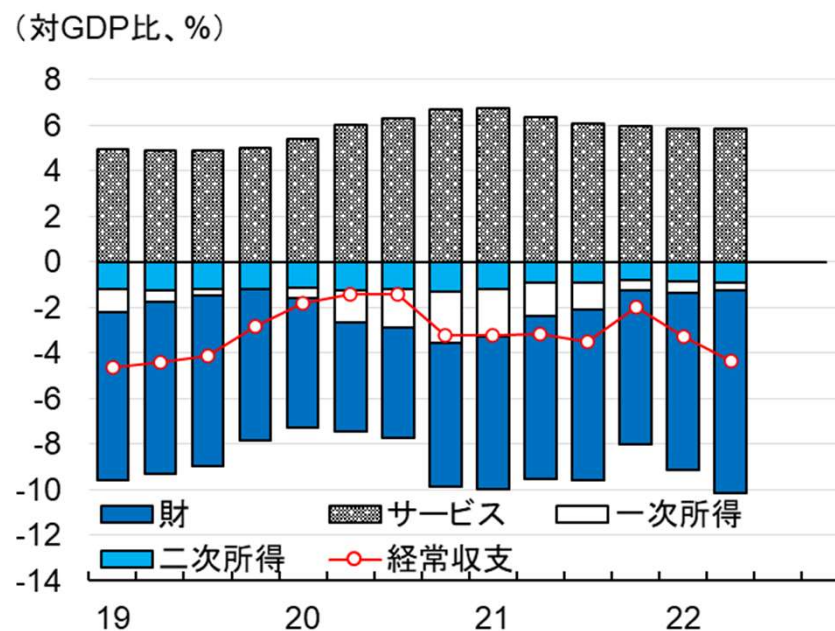
### ポンド相場



(注) 週次レート  
(出所) BOE

(年、月)

### 国際収支



(出所) ONS

(年、四半期)

ご利用に際してのご留意事項を記載していますので、ご参照ください。

(お問い合わせ)調査部 土田陽介 TEL:03-6733-1628 E-mail:[chosa-report@murc.jp](mailto:chosa-report@murc.jp)

〒105-8501

東京都港区虎ノ門5-11-2 オランダヒルズ森タワー

- ご利用に際して -

- 本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません
- また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません
- 本資料に基づくお客様の決定、行為、及びその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客様ご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます
- 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所:三菱UFJリサーチ&コンサルティングと明記してください
- 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要です。当社までご連絡ください